

## 第31回センシングフォーラム 計測部門大会

木本 晃\*

\* 佐賀大学理工学部 佐賀県佐賀市本庄町 1  
 \* Graduate School of Science and Engineering, Saga University, 1 Honjo-machi, Saga, Japan  
 \* E-mail: kimotoa@cc.saga-u.ac.jp

JL 0004/15/5404-0284 ©2015 SICE

2014年9月25日(木)・26日(金)、佐賀大学(本庄キャンパス)において、第31回センシングフォーラムが開催された。「センシングフォーラム」は、計測自動制御学会・計測部門大会であり、センシングフォーラム運営委員会(委員長 大阪電気通信大学・来海 暁先生)によって企画・運営されている。本フォーラムは、センシング技術をキーワードとして本会の幅広い計測分野での技術交流・情報交流を行う場として位置付けられている。今次大会では、「新たな地平を切り開くセンシング」をテーマとして、2日間で、特別講演1件のほか、一般講演と企画講演を合わせて65件の研究発表が行われ、日本全国より121名の参加者があり、盛況のうちに終了した。

学会1日目の午後に、産業技術総合研究所の徐 超男先生により、「応力発光による構造物センシングの基礎と応用展開」と題して特別講演が行われ、最先端のセンシング技術である応力発光の原理とその応用に関してわかりやすく講演していただいた(写真1)。多くの参加者にとって大変興味深く、有意義なご講演であった。2日目の午前には、温度計測部会によるオーガナイズドセッション「温度計測最前線」が開催された。一般セッション講演として、パターン計測、センシングシステム、生体計測、非破壊検査、力学量計測、CT、流体計測、音響計測、触覚、電磁気計測など、15のセッションにおいて、多岐にわたる分野の講演が行われ、研究内容について有意義な意見交換が行われた。2日目の昼には、ランチョンミーティングが開催され、計測部門論文賞とセンシングフォーラム研究奨励賞の表彰式が行われるとともに、表彰者を囲んで計測関係者が交流を深めた(写真2)。

ランチョンミーティングにおいて表彰された方々の研究題目はつぎのとおりである(敬称略)。

## [計測部門論文賞]

- 藤原正浩、篠田裕之(東京大学): 集束超音波を用いた表面硬さ分布の遠隔計測, 計測自動制御学会論文集, Vol.49, No.4, 455/460 (2013)
- 奥村光平(東京大学), 石井将人, 巽 瑛理(科学警察研究所), 奥 寛雅, 石川正俊(東京大学): 高速視線制御光学系による高速飛翔体の映像計測, 計測自動制御学会論文集, Vol.49, No.9, 855/864 (2013)

## [センシングフォーラム研究奨励賞]

- 加納 徹(信州大学): X線CT画像の精度向上に関



写真1 徐超男先生による特別講演



写真2 部門論文賞と奨励賞の表彰

する研究(コーンビームCTにおけるメタルアーチファクト低減)

- 高木 翼(信州大学): FBG センサを用いた血圧計測における基礎的検討
- 三澤哲郎(産業技術総合研究所): 熱力学温度測定へ向けた擬球共鳴器による音響モード測定
- 中妻 啓(熊本大学): サクソフォン吹奏時の口腔内状態計測法の基礎的検討
- 菊谷美加(慶應義塾大学): 乳癌診断画像からの癌領域抽出法
- 坂田佳寿(広島工業大学): 魚眼カメラを用いた光反射特性の簡易測定法
- 角谷美和(同志社大学): 複数ターゲットに対する野性コウモリの超音波センシング戦略について(パルス放射方向および飛行軌跡に関する実験的・数理的検討)
- 飯泉英昭(産業技術総合研究所): 液体潤滑型ピストン・シリンダの特性評価

次のセンシングフォーラムは、2015年9月10日(木)・11日(金)に大阪電気通信大学(寝屋川キャンパス)での開催を予定している。(2014年12月22日受付)